

私たちの町議会 りくべつ No. 72

発行月日・平成25年4月19日
 編集・議会運営委員会
 発行・北海道陸別町議会

3月定例会

陸別町議会3月定例会は、3月8日から18日まで開かれました。今定例会では、条例案14件、平成24年度補正予算案8件、平成25年度当初予算案7件、その他3件を可決し、閉会しました。

平成25年度 予算総額51億7,896万円 - 対前年度比0.4%増 -

当初予算質疑から

りくべつ鉄道管理事業
 気動車塗装 465万円
 トロッコ周回路設置
 700万円 他

○ は、どの程度完成したのか。

○ 8割ほどの完成状況と考えている。商工会と協議しながら整備を行っていききたい。

○ 今回のトロッコ周回路のように飽きられない工夫を続けていく必要があるのでは。

○ 設備投資に頼らなくても、今あるものを工夫してできると考えている。

○ 事業が充実し拡大するにつれ、保安面などで、これまで以上に責任を持った運営が必要となる。このままの運営方法を続けていくのか。

○ 小さな町の身の丈にあつた運営をするしかないと考えている。

○ 民間の力、発想を大切にしたいので、今後も商工会に運営をお願いしたい。

改修された恩根内の住宅



○ 恩根内ちよつと暮らし住宅外構工事 210万円

○ 菜園などを生かし、市街地の体験住宅とは違う特色をもったものにすべきでは。

○ 庭木や畑などの利用は、陸別移住を応援する会等と相談しながら整備を進めたい。

○ 小利別湧水取水口改修 37万円

○ 何のための改修か。

○ ミネラルウォーターを製造するために必要な改修を行う。

平成25年度 各会計予算額

会計名	総額	前年度比
一般会計	37億8,988万円	101.50%
特別会計	国保事業勘定	4億3,530万円 94.65%
	国保直診施設勘定	4億0,385万円 101.11%
	簡易水道事業	1億6,449万円 106.28%
	公共下水道事業	1億1,106万円 93.75%
	介護保険事業勘定	2億3,595万円 93.67%
後期高齢者医療	3,843万円 96.99%	

（特産品開発）
 エソシカ肉の商品化とは

○ どのようなものを考えているのか。

○ 部位により、シカ肉ジャーキーとその他の商品の製品化をめざし研究している。

○ 誰が製品化の最終判断をするのか。

○ 試食会を行った上で、加工センター運営協議会で決定する。

当初予算質疑続誌

「陸別百恋水」「日本一寒い町りくべつ」を商標登録へ 10万円

商標登録の内容は、「陸別百恋水」と「地域ブランド販売のため、例えば「日本一寒い町りくべつ」などを考えている。

eLTAX共同運用

新たな税システム 89万円
の内容は、

今回購入する機器は、大規模な法人からの給与支払報告等を電子データで受け取るために使用する。個人の確定申告に使用するものではない。

デイサービス運営事業補助金 1千100万円

前年度に比べ補助金が増えているが、今後の見通しは、

現状では、大幅な変動は無いと見込んでいます。

○ デイサービスの利用者増に向けて、お年寄りや家族にいていない説明をすることを心がけて欲しい。

○ その趣旨は十分承知している。今後もデイサービスセンターやケアマネージャーと連携して利用に繋げていきたい。

介護従事者人材育成事業 526万円

○ 事業の内容とこれまでの実績は、

国の雇用対策事業で、介護施設職員の新規雇用と研修、資格取得に対し助成される。これまでの実績は5名で、今年度は2名分の予算を計上した。

緊急雇用対策事業委託料 1千828万円

○ 前年から500万円減っているが、景気の動向によっては増額する必要があるのでは。

○ 必要があれば補正予算で対応したい。

日産自動車購入助成事業 310万円

○ 24年度の実績は、また、助成の対象を拡大したが、その効果は

○ 実績は8台で助成額は150万円の見込み。対象の拡大によりトラック1台の購入があった。

樋門管理委託料 28万円

○ 業者に委託する理由は、

○ 樋門は町内に13か所あり、これまでは近隣に住む個人に管理を委託していた。河川増水時には危険がともなう業務であること、管理人が高齢化していることを考慮して、業者に委託することにした。

街路灯改修(LED化) 378万円

○ 24年度に設置したLED街路灯の試験結果は、

○ 改修前の明るさを維持しながら、約83%

の節電効果があった。25年度は町道駅前東通りに設置する。

地方交付税

○ 国は国家公務員に準じて地方公務員の給与を削減しよう求めている。その分が地方交付税に反映されるが、当町への影響はどのようなものか。

○ 試算では交付税が2千511万9千円減額になる。

○ 既に定員管理などで独自に人件費の抑制を図っているが、他の自治体の動向を見て判断する。

介護保険事業勘定特別会計 介護給付費準備基金繰入金 770万円

○ 今後も基金を取り崩すのか。

○ 26年度も予定しているが、第5期陸別町介護保険事業計画に基づき、計画的に基金から繰り入れているものである。

新年度予算の主な事業

○ 庁舎電算システム更新事業 667万円

[職員用PC、シンクライアント等購入]

○ パスポート発行事業 52万円

[発行機器購入等、役場窓口でパスポートの申請と受け取りを可能にする、早ければ9月から実施予定]

○ ふるさと銀河線りくべつ鉄道管理事業 3,365万円

[気動車塗装(1台)、線路敷地側溝整備(栄町)、トロッコ周回路設置]

○ 地上デジタルテレビ中継局整備事業 2,128万円

[テレビ北海道(TVH)の中継局を整備、開局は11月以降の予定]

○ ミネラルウォーター開発 312万円

[陸別百恋水(ひゃっこいみず)を3万本製造、全町民に無料配布予定]

○ 老人健康増進センター(ゲートボール場)改修 821万円

[暖房機更新、屋根の塗装]

○ 農畜産物加工研修センター改修事業 5,862万円

[乳製品加工室増築(生乳受け入れ、飲用牛乳充填、チーズ加工設備等を整備)]

○ 日産自動車購入助成事業 310万円

[継続]

○ プレミアム商品券事業 450万円

[継続、2回実施]

○ 街路灯改修事業 378万円

[LED街路灯設置、町道駅前東通り(ケイセイ社宅横~Aコープ裏まで)]

○ 町営住宅整備事業 9,036万円

[新町2区2棟4戸建設(平成24年度繰越明許事業を含む)ほか]

○ スクールバス購入事業 2,143万円

[38人乗りスクールバス購入、西斗満線の中型バスを更新]

○ 小学校/中学校コンピュータ整備事業 334万円/522万円

[2か年で実施、平成25年度は職員室内パソコン等の更新、平成26年度はPC教室の児童生徒用パソコン等を更新予定]

一般質問

3月定例会では3人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

多胡 裕司 議員

診療所に診療科目の増を

○ 整形外科、眼科、耳鼻科等の診療を派遣医師などにより行うことはできないか。

(金澤町長)

A 高橋所長は、整形外科の診療を行うことは可能である。診療室、医療機器などの大がかりな施設整備を行わなければならないが、他の科目を含め医師とも相談しながら検討したい。

院外薬局の設置を

○ 本町には薬局が無く、不便な状況である。効率的な診療所経営のためにも院外薬局を採用してはどうか。

(町長)

A 入院患者を受け入れる場合、薬剤師を置かなければならない原則がある。患者さんが診療所と薬

局の2カ所に行かなければならない不便さもある。薬局の開業については、これまでも商工会等と相談してきたが、実現していない。

野尻 秀隆 議員

地域経済活性化の考えは

○ 陸別町の地域経済全体の現況を、行政としてどうとらえ、どう関わっていくのか。

(町長)

A この問題は永遠の課題であると思う。基幹産業を大事にしていかなければならないし、少子高齢化が進み今まで通りにはいかない。行政としては地元で調達できるものは地元優先の考えである。

○ 地元業者の育成について。

(町長)

A 平成21年度から町単独で緊急雇用対策事業を実施している。

民間で出来ることは民間での基本方針は変わらないので、これからも民間委託を増やしていきたいと考えている。

○ 地元業者それぞれが適正利益を生み出すために、入札は一括発注ではなく、分離発注をすべきと提案したが、現状は。

(町長)

A 地元でこなせるものについては出来るだけ分離発注しており、今後も増やしていきたいと考えている。関係部署にもそのように指示している。

○ 町の顔でもある商店街の業種・店舗数の現状をどう思うか。

(町長)

A 町内の小売店等は、時代の変化もあり大変苦勞して、かつ厳しい状態が続いていることと思う。今まで通りのやり方ではなく、工夫・改革の必要があるだろう。

あるだろう。

地元の状況に合わせた経営をして欲しいし、行政としてもバックアップしていきたい。

再生可能エネルギーの取り組みは

○ 色々な再生可能エネルギーの取り組みが各地で進められているが町の動きは。

(町長)

A 過去にバイオマスで補助金をもらって研究したが、気象条件等が合わず断念した。基幹産業が酪農であり対応の必要性を感じている。

一方、民間の方々が太陽光発電について申請していると聞いている。町としても色々と検討してみたい。

一般質問続き

古田 英一 議員

人・農地プランとは

Q 町内の進捗状況と今後の取り組みについて。

(町長)

A 町・JA・農業改良普及センター・農業者で話し合い、分線地区で作成した。今後は町一円で、農業者の考え方をふまえて積極的に推進したい。

まとめ辞典

「人・農地プラン」とは… 地域農業マスタープランとも言われる、国が推進する農業施策の一つ。地域の農業を持続可能なものにするため、それぞれの集落・地域において徹底的に話し合いを行い、プランを作成する。集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となるべきものとされている。

酪農・肉用牛生産近代化計画の実現へ

Q 平成32年の目標年に向かつてどの様に経営体質の強化を進めるのか。

(町長)

A 5年ごとに見直し、自給飼料基盤に立脚したものを確立しながら、乳用牛の頭数では優良家畜導入支援事業で達成し、また道営事業でも対応していくよう進めている。今後、独自の考えも持ちながら行いたい。

当町の成年後見制度の状況は

Q 市民後見人制度とも言われているが、現在の状況はどのようなものか。また、養成等の推進事業に参画していくのか。

(町長)

A 町内では過去に2名の方がこの制度を利用している。今後後見人が必

要と思われる方は5〜6名想定されるが、対象となる方がいれば足寄町のNPOに依頼して対応したい。

水資源を活用した水ビジネスの方向性は

Q 当町のミネラルウォーターを町が運営する一大産業に育て上げ、町財政の改善、自治体サービスの向上、町民・企業の負担ゼロの町、財源の地産地消を可能とする事業として、町が行う考えはあるか。

(町長)

A ご意見は究極の目標として頭に入れておきたい。



意見書案

3月定例会で1件を可決し、関係機関へ、その実現を要請しました。
○平成25年度地方財政対策に関する意見書

第1回臨時会

1月31日に開会された第1回臨時会では、補正予算案2件を審議し、可決しました。

補正予算の主なもの

- 冬季生活支援事業 (福祉灯油) 325万円
- 農畜産物加工研修センター増築 (実施設計委託料) 199万円
- 除排雪業務委託料 676万円
- 診療所医療用機器購入 230万円

補正予算質疑から

まちづくり事業補助金

△425万円

Q 空き家解体の補助金の利用が頭打ちになっているようだが、農村部などに範囲を拡大する必要があるのではないか。

A 現在は市街地（下水道供用区域）に限定しているが、安易な対象範囲の拡大は考えていない。

制度そのものは再検討する時期が来ていると考えている。

保育ママ利用助成

△40万円

Q 保育ママ制度利用の状況は。

A 現在7件の利用があり、相談は子育て支援専門員（保健センター）が受けている。



緊急雇用対策事業委託料

△1千078万円

Q 減額の要因は。

A 仕事が少ない閑散期に、季節労働者等を雇用してもらったが、昨年に比べ利用が少なかった。

各事業所の仕事があったことが要因と考えている。

農畜産物加工センター賃金

△27万円

Q 減額の内容は。

A 加工補助と清掃作業分の賃金である。

Q アドバイザーの賃金の未払いがあったと聞いたが、原因と改善策は。

A 原因は出勤簿と日報の確認ミスによるもの。今後は職員とアドバイザーの連絡調整を徹底させる。

橋りよう長寿命化計画策定委託料

△106万円

Q 計画策定にあたりどのような調査をしたのか。

A 2か年をかけ、町内の87橋を、主に目視により調査した。

Q 補修の見通しは。

A 緊急の補修が必要なものは無かった。今後、この計画に基づき、優先度の高いものから順次補修していく。

道補助金（妊婦検診、がん検診、子宮頸がんワクチン接種）

△49万円

Q 平成25年度から補助金が廃止されるが、事業は継続されるのか。

A 道の補助はなくなるが、代わりに地方交付税で措置される。これらの事業は引き続き実施する。



ミネラルウォーター売り払い収入

14万円

Q 試作した「陸別百恋水」に対する町内販売店の評価は。

A 少量ではあるが、途切れずに注文があるので、一定の評価は得られていると考えている。

平成24年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	2億5,776万円	44億4,755万円
特別会計	国保事業勘定	4億7,362万円
	国保直診施設勘定	4億1,327万円
	簡易水道事業	1億5,510万円
	公共下水道事業	1億1,483万円
	介護保険事業勘定	2億3,479万円
	後期高齢者医療	3,960万円

議会運営委員会報告

「議会のあり方」について

議会運営委員会では、議長から諮問のあったこのことについて検討を行い、中間答申をまとめましたので、抜粋して報告いたします。

検 討 課 題		検 討 結 果
議会と住民	議会と町民が直接対話をする場 (議会報告会)	早期実施には困難性もある。
	議会広報のあり方	さらに議会広報誌を充実させる。
	ホームページの活用	町のホームページ内で、情報発信を 充実させる。
	本会議のインターネット中継	当面見送る。
議会と行政	通年議会の実施	調査研究を続け慎重に検討する。
	町側に反問権を認める	現状では認めるべきではない。
	議決事件の拡大	町と協議のうえ拡大すべき。
議会内部	勉強会、研究会の実施	必要に応じ実施すべき。
	議会基本条例の制定	引き続き研究を続ける。

ホームページの活用については3月定例会で運営規程を可決し、徐々にではありますが内容の充実を図って参ります。(陸別町ホームページをご覧ください。)

議決事件の拡大についても、協議のうえ、町提案により陸別町議会の議決すべき事件に関する条例が3月定例会で可決されました。

議会運営委員会では今後も「議会のあり方」について検討して参ります。

条例・その他の審議結果

件 名	審議結果
● 陸別町営農用水道施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町営住宅管理条例の一部を改正する条例	
● 陸別町農畜産物加工研修センター条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町公共下水道事業条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町暴力団排除条例	可 決
● 陸別町新型インフルエンザ等対策本部条例	可 決
● 陸別町高齢者交流センター条例	可 決
● 陸別町指定地域密着型サービス事業者の指定に関する基準を定める条例	可 決
● 陸別町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	可 決
● 陸別町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに 介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可 決
● 陸別町営住宅等整備基準条例	可 決
● 陸別町道路の構造の技術的基準等を定める条例	可 決
● 陸別町議会の議決すべき事件に関する条例	可 決
● 陸別町議会ホームページ運営規程(議員発議)	可 決

新しくなったトラリ浄水場



完成した高齢者交流センター



総務常任委員会報告

給食センターは新町2区に

○2月22日、委員会を開催し、町から給食センターの建設予定地について説明を受け、意見交換を行いました。

その結果、新町2区を建設予定地として実施設計が作られることになりました。

○3月8日、委員会を開催し、完成した高齢者交流センターを視察しました。これから購入する備品等について意見を述べました。

産業常任委員会報告

○3月8日、委員会を開催し、「恩根内ちよつと暮らし住宅」を視察しました。屋外の整備について活発な意見交換がなされました。

○3月28日、新しくなったトラリ浄水場を視察しました。

今後、引き続き調査・研究することになっています。

議会の動き

〈1月〉

31日 議会運営委員会
第1回臨時会
議員協議会

〈2月〉

22日 議員協議会
総務常任委員会所管事務調査（給食事業について）

〈3月〉

5日 議会運営委員会
3月定例会（初日）
産業常任委員会
総務常任委員会
議員協議会

10日 TPPから「地域」「経済」「生活」を守る
十勝大会参加（音更町）
3月定例会
議会運営委員会

11日 3月定例会
議会運営委員会

12日 3月定例会

18日 3月定例会
議会運営委員会
議会運営委員会
産業常任委員会所管事務調査（トラリ浄水場視察）

28日 3月定例会
議会運営委員会
議会運営委員会
産業常任委員会所管事務調査（トラリ浄水場視察）

傍聴の声から

3月定例会を傍聴された方から感想をお聞きしました。
○初めて議会を傍聴したが、発言のやりとりなどとても勉強になった。傍聴したことを周りの人に話したら、次回は誘って欲しいと言っていた。また行きたいと思う。

○町民として町のことをわかりたいと思って初めて傍聴に行ったが感動した。またぜひ行きたい。

○今まで行ったことが無かったが、町のことをどの様に決めているのか実際に見たり聞いたりすることが大事だとわかった。傍聴して本当に良かった。

次回の定例会は6月に開催されます。
詳しい日程等は議会事務局に確認してください。
皆さんの傍聴をお待ちしています。

皆さんの声を議会に

請願（陳情）は国や町などに対しての要望を文書で提出するもので住民の権利として保障されています。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。